

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

しらさぎの家

グループの名称

姫路木材市場住まい創り協議会

直近採択グループ番号

06-0367-0579

(グループ代表者)

代表者名

池田 浩司

代表者印

代表者所属先

株式会社ケーアイリビング

代表者所在地

兵庫県加古郡播磨町南大中2丁目1番9号

代表者電話番号

079-436-8556

(グループ事務局)

事務局事業者名

姫路木材市場協同組合

事務局担当者名

前田 千波

印

事務局郵便番号

671-1241

事務局所在地

兵庫県姫路市網干区興浜2111番地

事務局電話番号

079-271-2770

事務局FAX

079-271-2771

事務局担当者E-mail

kirakuya0816@yahoo.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		39	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		30	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		11	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		6棟				
					580㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		3棟				
					450㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	期間を決めて、希望する各施工業者に、まず1棟ずつ配分し、グループ内で幅広く活用していただけるように心掛ける。その後は、契約締結の順番により再配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	34	戸	交付申請戸数	24	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	24	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	1	棟	交付申請戸数	1	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	1	戸	
採択床面積	175	㎡	交付申請床面積	144	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	144	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しらすぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県 大阪府 京都府 岡山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 姫路木材市場住まい創り協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0367-0579	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○
④①～③の背景	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
a	
①-1 用材の寸法規格化	◎
①-2 使用建材の統一	◎
①-3 標準仕様の設定	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	◎
②-2 調達事務の合理化	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	◎
b	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	◎
c	
① 週休2日制の導入の取組	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	◎
③ 社会保険への加入	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しらさぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県 大阪府 京都府 岡山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 姫路木材市場住まい創り協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0367-0579	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報は住宅履歴情報会社を選定しており、データでの管理を実施する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報だけでなく、顧客管理情報として活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お施主様・施工店・事務局が共通IDにより確認できる。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検を既存住宅状況検査員が行いお施主様への維持管理情報を提供する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォームや補修工事が発生した場合は、見積書・契約書・工事の前後の写真を履歴情報に登録する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「いえかるて」点検結果チェックシートの登録状況を年1回確認する	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「しらさぎの家推進委員会」が管理勉強会を企画し年1回以上開催する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「しらさぎの家推進委員会」がDIY体験会(木工教室)を企画し年1回以上開催する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「しらさぎの家推進委員会」が長期優良住宅等について説明会を企画し年1回以上開催する。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「しらさぎの家推進委員会」が施工店と協議する会を年1回以上開催する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店が交付した維持管理計画書を事務局が管理し、その実施の有無を事務局に通知する。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が他の施工店を斡旋し、定期点検等のフォローアップを行う。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 保険事故事例について瑕疵保険会社に講習を依頼する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 既経験構成員による建築現場を利用した講習会を年1回以上開催する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型住宅については劣化対策等級2相当以上とする。(長寿命型は3相当以上)	◎
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が図面又は現場にて確認する。
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員から随時受注予定等のヒアリングを行い地域材の需給計画を策定する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新省エネ基準の義務化を2年後に控えて一次エネルギー計算講習会を開催し習得促進をする。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員と事務局とで協力し長期優良住宅認定取得が行える様に取り組む。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 41 今年度の参加目標人数 6
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 32 今年度の参加目標人数 10	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が講習会開催予定表を地域協議会より入手して構成員に告知して参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断面欠損を小さくする為に、金物工法を採用し耐震強度を高めた家創りを目指す。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しらすぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県 大阪府 京都府 岡山県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 姫路木材市場住まい創り協議会	(結成年) 2015 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0367-0579														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台と柱はひのき・すぎ(国内合法木材証明制度・兵庫県産木材証明制度)を使用し、梁・桁はひのき・すぎ・べいまつ(国内・国外合法木材証明制度・兵庫県産木材証明制度)を使用する。品質を担保するために地域材は乾燥材又は構造用集成材とする。	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>当協議会の地域材としては、兵庫県産木材を使用することを第一に優先する。但し、より多くの未経験者施工業者に地域型住宅を建設していただけるよう、姫路木材市場協同組合・株式会社中塚木材商店に集まる隣県各地の合法木材も使用できるものとする。また、需給のバランスを取るため当協議会の定める地域材のストックヤードとして姫路木材市場組合・株式会社中塚木材商店を利用する。</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: スtockヤードの地域材の取引量を事務局として把握して構成員に情報提供する。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: スtockヤードの地域材の価格動向を事務局として把握して構成員に情報提供する。	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 3ヶ月先迄の建築予定をヒアリングして将来の需給動向を把握して在庫量に反映する。	○												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 180枚	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定数量(屋根延べ坪数) 250坪	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3x6換算) 30枚	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3x6換算) 30枚	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 屋根瓦を使用する場合は淡路瓦を推奨し、畳を使用する場合は地場産業の物を推奨する。	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外壁として漆喰を使用し、姫路城を含む城下町の景観との調和を図る。	○												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: "しらすぎの家"の施工業者内の各職人と交流を図り地域の伝統的なデザインについて情報を交換する。	○												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 対象地域内のコミュニティのイベント等を通して交流を図り気候風土による住まい方等の情報交換を行う。	◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 内・外装材に於いても木材を豊富に使用し和のテストを少し、でも取り入れ城下町の街並みとして調和を図る。	○												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 縁側等の掃き出し開口部がある場合は地域の伝統工芸品である、明珍火鉢の風鈴を夏に設置し涼感を創造する。	○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	兵庫県森林組合等が推奨するCLTを活用した建築物で木の良さの広報活動に努める。姫路城・JR姫路駅前でのイベントや各種祭礼等に積極的に参加し地域のコミュニティとの調和を図る。	○												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組	可能な範囲で東北地方の生産の住宅資材の積極的な活用に取り組む。被災地域において建築資材が不足した場合は優先的に当地場産材を被災地域へ流通させる事ができるルートを確認すると共に建築現場での施工上の要望があれば"しらすぎの家"施工業者を中心として協力・支援する体制を整える。	○												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	九州地区の合法木材証明制度の製品を積極的な活用に取り組む。復興が開始されて、住宅施工等において要望があれば"しらすぎの家"施工業者を中心として協力・支援する体制を整える。	○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) しらすぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県 大阪府 京都府 岡山県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 姫路木材市場住まい創り協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0367-0579	

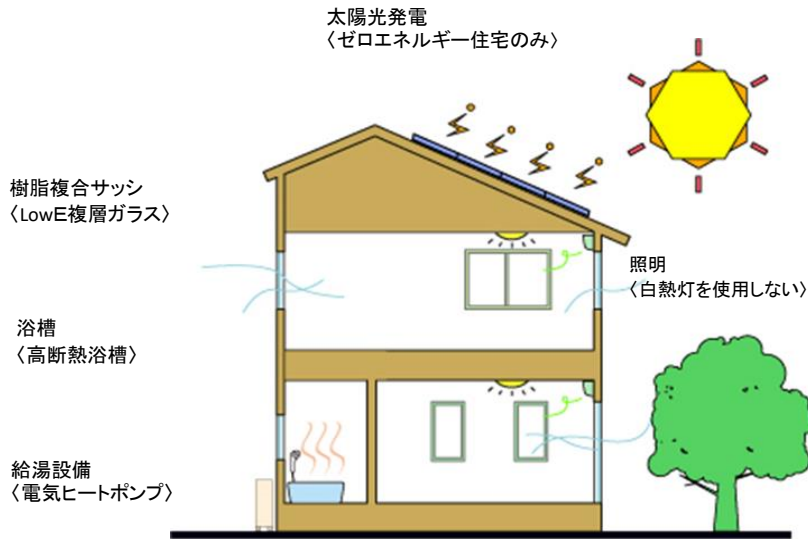
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

〈しらすぎの家 高度省エネ型住宅の特徴〉



平成28年省エネ基準の
断熱等性能以上

地盤調査必須

木材規格の統一

機器の標準仕様化

「しらすぎの家推進委員会」
と連携

兵庫県産材を含めた
国産材を積極的に使用

(ゼロエネルギー住宅の場合)

◎太陽光発電を除くエネルギー削減率(R0)は、20%以上とします。

◎BELSの評価書を必ず取得します。

【認定低炭素】

木造住宅及設置台数の半数以上を
節水トイレを使用する

【ゼロエネルギー住宅】

削減率(太陽光発電を除くR0)

4地域区分22.0%以上

5地域区分25.0%以上

6地域区分26.0%以上

とする

【性能向上計画認定住宅】

断熱等性能等級4かつ一次エネ
ルギー消費量等級5とする